

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 初めての当番を よんで、弘樹の気持ちの変化を1つえらびましょう。

飼育当番になった弘樹は、大きな犬がこわくて、はじめは遠くからえさを置くだけだった。けれど毎日通ううちに、犬がしっぽをふってむかえてくれるようになった。今では、そっと頭をなでるのが楽しみになっている。

1 こわがっていたが、今はふれ合うのが楽しみになった。

2 はじめから犬が大好きだった。

3 だんだん犬がきらいになった。

4 犬に関心がなくなった。

2 なくした本を よんで、あやまったあとの真央の気持ちを1つえらびましょう。

友だちから借りた本をなくしてしまった真央は、なかなかそれを言い出せなかった。何日も胸が重かったが、思いきってあやまると、友だちは「気にしないで」とわらってくれた。その言葉に、真央はほっと胸をなでおろした。

1 まだ言い出せずにいる。

2 友だちがゆるしてくれて、ほっとしている。

3 友だちにおこっている。

4 本のことをすっかり忘れている。

3 妹の運動会を よんで、妹がゴールしたときの陸の気持ちを1つえらびましょう。

陸は妹の運動会を見に行った。かけっこで妹がころんだとき、思わず立ち上がりそうになった。だが妹はすぐに起き上がり、最後まで走りきった。ゴールした妹に、陸はだれよりも大きなはく手を送った。

1 ころんだことをせめたい気持ち。

2 最後までがんばった妹をほこらしく思う気持ち。

3 早く帰りたい気持ち。

4 自分も走りたい気持ち。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

はじめは『こわくて遠くから』、今は『なでるのが楽しみ』と、こわさから親しみへ変わっています。

2 答え：2

『気にしないで』とゆるされ『ほっと胸をなでおろした』とあります。

3 答え：2

ころんでも走りきった妹に『だれよりも大きなはく手』を送っており、ほこらしさが読み取れます。

読み取るコツ

気持ちの変化は、前と後の様子をくらべます。行動や体のようす（足どり・肩・手）に注目します。